



祭りの再開に期待



庄内町長 富樫 透

この夏参加した2つのイベント、祭りについて報告させていただきます。

1つはファンデューロ月山という南部山村広場で開催されたバイクの大会です。3年ぶりの開催でベガ月山、龍神月山エンデューロなど名称は変えつつも30年以上続いてきた大会です。特に今年はファンデューロの名前の通りタイムよりも楽しむことに重きを置き、家族連れでも楽しめるというコンセプトのもと県内外から150人のエントリーがありました。スタッフの平均年齢も30代と若返り、多くの家族連れで賑わう様子は新鮮でした。「川の中も走れる大会は楽しい」との参加者の声もあり、特長を生かした運営を来年以降も期待したいと思います。

2つ目は、しょうない氣龍祭です。夏宵まつりに代わるイベントとして立川地域、余目地域に共通する龍をモチーフに五穀豊穡と町の発展を願う「新しい祭り」に進化しました。2体の龍の改修と製作をはじめ、完成した龍の胴体のうろこに子どもたちの願いごとを刻むプロジェクトや、本祭りに先行して公演された演劇など、想いを繋いで3年越しの開催となりました。

神事に始まり、ダンスパフォーマンス、飛龍、姫龍の勇壮でダイナミックな舞いは圧巻でした。龍の伝説は、おいしいお米の里の礎にもつながるエピソードで、今回参加した子どもたちが大人になっても内外に誇れる祭りにしたいものです。

祭りの語源は、「自然の神々に豊作と健康、安全を祈り、感謝すること」とされています。新型コロナウイルス収束も含め安全・安心な生活に続くように、さまざまな祭りに思いを込め盛り上げていきましょう。